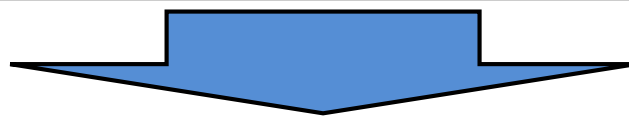


体罰防止の徹底を！

夏季休業中に多くの時間を使って取り組む部活動や水泳の指導等では、行き過ぎた指導とまらない注意が必要です。各学校で体罰防止についてあらためて確認し教職員間での共通理解を徹底しましょう。

こんなことが体罰の背景になっています

- 気合を入れるために、ある程度の体罰は必要かも・・・
- 保護者との信頼関係があれば多少のやりすぎはわかってもらえる・・・
- 指導に力が入ると、「バカ!」「帰れ!」といった言葉がつつい出してしまう・・・
- 指導困難な児童生徒への対応は、一部の指導できる教員に任せている・・・
- やりすぎではと思っても、熱心に指導している部活動顧問のやり方には口を出せない・・・



「**体罰防止ハンドブック**」(平成25年8月 岡山県教育委員会)や
「**運動部活動の指導ガイドライン**」(平成25年5月 文部科学省)
等を使って、**体罰は絶対許されない**ことを再認識し、**体罰防止のポイントを**確認しましょう。

